

江戸時代初期からおよそ三三〇年に渡り  
長井市十日町に店を構えた商家「丸大扇屋」  
最上川舟運とともに栄えたその歩みを辿る

写真：丸大扇屋新座敷にて、十一代目長沼忠兵衛と家族（1920年4月3日）

# 丸大扇屋

Marudai Ogiya  
330 years of  
history

# 330年の歴史

2021年 **6月2日(水)** ~ **8月29日(日)**

休館日 月曜日(6月14日、21日、28日は開館。8月9日は開館し翌日休館)

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)

会場 **丸大扇屋 内蔵・新蔵** **入場無料**



現在の丸大扇屋店内風景。明治から大正頃の様子を再現している。

**丸**大扇屋は、1640年頃に初代長沼忠兵衛が樁(現飯豊町)より長井の宮・十日町へ移住し店を構えたことに始まる商家です。最上川舟運とともに呉服商として隆盛し、1970年頃までおよそ330年に渡り営業を続けました。最終的に財産を引き継いだ十代目の三男・長沼孝三(彫刻家・長井市名誉市民)が、1988年にその一切を長井市に寄贈し、改修工事を経た1995年に一般公開、2003年には県指定文化財となりました。本展では解説パネルと合わせて民具や看板などの収蔵品を展示し、長沼家の長きに渡る歴史を振り返ります。



上左から：朱塗家紋入指樽 / 獅子頭 / 看板(ままだひ印勇の花色) / 下左から：鶴に若松絞入蒔絵化粧箱 / 看板(島田由五郎)

**同時開催** 長沼孝三彫塑館第2期収蔵品展

## サイパン玉砕～戦争と平和の造形 6月8日～9月12日

丸大扇屋で生まれた彫刻家・長沼孝三が制作した初期～中期作品を中心に、夏の季節を感じる彫塑やレリーフ、作家資料などを展示。

※入館料等の詳細は文教の杜ホームページをご覧ください。

ご来場の際は感染症対策としてマスクの着用、手指の消毒、検温、他の方と距離を取る等のご協力をお願いいたします。なお今後の状況によっては予定されているイベントを中止する場合があります。



フラワー長井線長井駅より徒歩13分、あやめ公園駅より徒歩6分

お問い合わせ

長井市十日町1-11-7 / Tel:0238-88-4151  
[www.bunkyounomori.com](http://www.bunkyounomori.com)



文教の杜ながい  
 Bunkyounomori Nagai